アレクセイ・ヴォロディン（ピアノ）

Alexei Volodin, Piano

　非常に繊細なタッチと華麗な技巧が高く評価されているヴォロディンは、桁外れに多様なレパートリーを有し、ベートーヴェン、ブラームスからチャイコフスキー、ラフマニノフ、プロコフィエフ、さらにガーシュウィンからシチェドリン、メトネルまで自在に弾きこなす。

1977年、レニングラード生まれ。グネーシン音楽大学で学んだ後、モスクワ音楽院でヴィルサラーゼに師事。2003年、チューリヒで行われたゲザ・アンダ国際ピアノ・コンクールでの優勝を機に国際的にその名が知られることとなった。

　アシュケナージ、ビシュコフ、ナガノ、ノット、ロフェ、インキネン、井上道義らの指揮のもと、ロンドン響、BBC響、SWR響、スイス・ロマンド管、マリインスキー劇場管、モントリオール響、NHK響、大阪フィル、KBS響などと共演。リサイタルは、ウィーン・コンツェルトハウス、フィルハーモニー・ド・パリ、アムステルダムのコンセルトヘボウ、チューリヒのトーンハレなどで定期的に演奏している。

　録音も多く、ラフマニノフ、シューマン、ラヴェル、スクリャービンのソロ作品集などをリリース。なかでも、ショパンのディスクは、ショク賞やディアパゾン誌の５つ星を獲得した。

　スタインウェイの専属アーティストである。